

事務事業名		小中連携・一貫教育推進事業		会計	一般会計		事業種別		政策	開始	23	終了	
H27担当課等名	学校教育課		H27係等名	学務係		H26係等名	学務係						
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり										
	施策	22	義務教育の充実										
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校						対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を実施する。							小中学校数	28			
	向上させたい上位施策の成果指標	不登校の児童・生徒数											
目標	種別	指標名及び単位						26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	小中連携・一貫教育を実施する中学校区数						9	9	9	9		
	成果指標	連携・一貫教育を受ける児童生徒数						8917	8919	8742	8758		
	定性目標												
事業概要	義務教育9年間に於いて、各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を行うことで中1ギャップの解消を図り、地域に誇りと愛着を持つ心と確かな学力を育む。中学校区単位で、①児童・生徒間の交流活動の推進、②小中学校の教職員間の連携の強化、③地域資源の積極的な活用等により、学力・体力の向上及び不登校問題の解決を図る。また、地域で学校運営に関わるしくみづくりについでの研究を行う。												
26年度事業内容	事業内容						名称		活動指標				
	小中連携・一貫教育を市内全中学校区(9校)で実施する。支援指導主事による小中連携の調整・教科指導、いじめ・不登校・障がい等個別の支援が必要な児童等に対する支援を行う。 1 市内全中学校区における小中連携・一貫教育の実践 2 中学校区への教育支援指導主事の配置 3 推進状況検証のための小中連携・一貫教育推進委員会の開催 4 教職員を対象とした、外部専門家を迎えての研修会及び先進地の視察研修等						1 小中連携・一貫教育導入校数 2 配置数 3 推進委員会 4 研修会・先進地視察		1 9中学校区 2 12人 3 5回 4 1回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		26,364	26,131	25,801	26,214								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		26,364	26,131	25,801	26,214								
人件費計(千円)②		536		0									
正規職員所要時間		150											
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		26,900	26,131	25,801	26,214								
事業内容・目標達成状況の振り返り	本年度、全中学校区において、「小中連携・一貫教育」の実践を始めることができた。												
改革改善の考え方	①問題点	学級数が多い中学校区では、小中連携・一貫教育を進める上で教職員の負担感が大きい。											
	②改革提案	教育支援指導主事の配置を継続し、教職員及び課題を抱える児童生徒の支援を行う。											